

目標達成計画

作成日：平成 22年 12月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	ご家族様より、費用面や書類の説明等で、認識の度合いや、理解度の違いも考慮し、解りやすい説明を行う。また接遇で、職員の言葉遣いや態度に対する指摘があった。	費用面や書類は全職員もきちんと把握し、ご家族様からの、質問等に的確に答えられるようにする。日々のコミュニケーションを図り、施設内の様子を随時報告する。職員の接遇は入居者様、ご家族様、他すべての方を尊重し、気持ちの良い対応をする。	費用面や書類等に関し、入居時にきちんと説明をする。全職員も費用面や書類等の再確認を行い、入居者様、ご家族様の質問等にいつでも、きちんと返答ができるよう内容の把握に努めています。接遇(言葉遣い、態度)は職員のフロア異動を行い、介護支援に対する質の向上を図っています。施設内研修を毎月実施し、職員の意識向上に努めています。	3ヶ月
2	45	入浴は基本的に週2回である。本人の希望や皮膚疾患等がある場合は、随時対応しているが、入浴回数について入居者様、ご家族様の意見も参考に検討する。	入浴日はある程度は決めるも、入居者様の希望に添うよう柔軟に対応する。入浴時間もいつでもすきな時間に入れる様、準備をしておく。皮膚疾患等がある場合は毎日入浴し、清潔保持に努める。	入居者様と日々のコミュニケーションを図り、本人の希望を聴き、一人ひとりに合わせた入浴を行っています。入浴が楽しみになるよう、ゆず湯にしたり、入浴剤を入れ気持ち良く入浴ができるよう努めています。	3ヶ月
3	6	玄関の施錠は徘徊が多いため、家族の了解を得て行っているが、入居者様が自分の意思で開けられず、屋外に自由に出入りができない。	玄関の鍵をかけず、自由に屋外に出入りができる、見守り支援を行う。	日中、外気浴や散歩の時間帯(9~11・14~16)を決め、自由に屋外に出入りができるよう努めています。入居者様の要望に応じて屋外に行けるよう支援しています。最終的には鍵をかけず、自由に屋外に出入りが出来るような支援を図れるよう、職員間で協議を重ねていきます。	6ヶ月
4	35	夜間帯の避難訓練(夜勤者3名による)の実施、安全に避難誘導が出来る手順や時間の把握。大規模災害に備えた食料品の備蓄。	夜間帯、夜勤者3名により入居者27名が安全に避難することができる。大規模災害に備えて、食料品の備蓄を行う。	夜勤を行う全職員で夜間帯に、災害や火災を想定し避難訓練の実施をします。また大規模災害に備え、水、飴、乾パンなどの食料品を準備します。	1ヶ月

5	5	市担当職員との連携がはかれておらず、協力関係が築かれていない。	市担当職員と連携し、日頃より連絡を密に取り、事業所の実情やサービスの取り組みを積極的に伝え、協力関係を築く。	運営推進会議やホーム行事等への参加をお願いします。市担当職員との連携を図り、ホームの現状や課題を共有し、より良い介護支援が図れるような協力関係が築けるよう努めます。	3ヶ月
6	1	当ホーム独自の理念や目標の作成	「明るく元気に挨拶、いつも笑顔でゆとりの介護」…当ホームの理念でした。	理念に基づき、入居者様、ご家族様、他すべての方に対して職員一同、きちんとした対応に心掛け、入居者様が安心して生活が営めるよう支援します。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。